

事業所名 TASUC国立教室 児童発達支援

理念 「一貫性と継続性のある支援体制を構築する」

- 支援方針
- 1,アセスメントの実行による理解が先
 - 2,ご家族と協働する
 - 3,TASUCメソッドに基づいた療育・教育・支援

作成日：2025年02月27日
 営業時間：9：00～17：30
 （休憩時間12：00～13：00を除く）
 送迎実施の有無：なし

活動	内容	ねらい
〈健康・生活〉 日常生活動作	入退室時の準備や手洗い、着替え等、基本的な日常生活動作を身につけます。	入退室時に自分の荷物の整理や片付け、手洗いやうがい、着替えに取り組むことで、基本的な日常生活動作の習得をねらいます。
〈認知・行動〉 〈言語・コミュニケーション〉 個人別の課題学習	アセスメントの結果を基に、一人一人に応じた認知課題を明らかにして、三種の神器を中心とした机上学習に取り組みます。指導者が一定の割合でガイドしたりして指導します。	三種の神器（スケジュール・コミュニケーション・タスク・オーガナイズーション）を中心に療育することで、今の生活やこれからの学校生活に備えることがねらいです。
〈人間関係・社会性〉 グループ学習	挨拶、呼名への応答、絵本の読み聞かせなどを行います。	見る力や聞く力の育成をはじめ、着席行動の習得や、お友達との関係づくりなどをねらいます。
〈運動・感覚〉 身体づくり（親子体操） 身体をほぐそう・意識しよう 一緒に身体を動かそう	<ul style="list-style-type: none"> ・ バランスボール ・ タオルストレッチ ・ 抗重力姿勢運動 ・ 片足立ち ・ ウォーキング 	バランスボールやストレッチ、抗重力運動を行い、身体をほぐしながら動かし方を意識し、姿勢保持や覚醒レベルの調整力を養います。また、個々の感覚特性に合わせて運動の種類や量を調整し、自分に合った取り組み方を学びます。さらに、保護者と一緒に身体を動かすことで、触れられながらの運動を経験し、愛着の形成を促します。感覚・運動アプローチを通じて感覚統合を促し、感覚処理の問題や不器用さの改善を目指します。

活動	内容
家族支援	先輩保護者（メンター）が同席し、MTG（ストレングス・アプローチ）を行います。メンターを仲介役にして、同日時に集った親同士のMTGを行うこともあります。また、月に1度保護者向けの学習会を実施します。
移行支援	学校側への合理的配慮の提案（座席や支援グッズ、スケジュール調整）/学校選びに関するアドバイス/関係期間との情報共有など
地域支援・地域連携	ブルーウォーキング（地域コミュニティとの連携）/地域の資源を利用した社会科体験（買い物学習など）
職員の質の向上	月に1度社内研修有/事例検討会など
主な行事等	たすく祭（秋の芸術祭）/富士登山/ノルディックウォーキング大会など



事業所名 TASUC国立教室 放課後等デイサービス

理念 「一貫性と継続性のある支援体制を構築する」

- 支援方針
- 1,アセスメントの実行による理解が先
 - 2,ご家族と協働する
 - 3,TASUCメソッドに基づいた療育・教育・支援

作成日：2025年02月27日
 営業時間：9：00～17：30
 (休憩時間12：00～13：00を除く)
 送迎実施の有無：なし

活動	内容	ねらい
〈健康・生活〉 日常生活動作	入退室時の準備や手洗い、着替え等、基本的な日常生活動作を身につけます。	入退室時に自分の荷物の整理や片付け、手洗いやうがい、着替えに取り組むことで、基本的な日常生活動作の習得をねらいます。
〈認知・行動〉 〈言語・コミュニケーション〉 個人別の課題学習	アセスメントの結果を反映させた、一人一人の状態に応じた課題に指導者と1対1で取り組みます。また、必要に応じて、カウンセリングなどで悩みの相談にも対応します。安全に考慮し、目的地まで移動するスキルの習得のため、助言や指導を行います。	一人一人に応じたプログラムに取り組むことで、J☆sKeysや言語技術力、対人関係発達等の向上をねらいます。また、一人一人に応じたツール（スケジュールやコミュニケーション）を整えることで、家庭や学校でも般化して取り組むことをねらいます。移動手段を身につけることで、将来の活動範囲を増やし、通学や就労などの社会的役割を持つことに繋がります。
〈人間関係・社会性〉 グループ学習	プレゼンテーションやゲーム、クイズなどを個々の段階に応じて実施し、製作や朗読などのグループワークにも取り組みます。実体験を伴う活動を取り入れ、認知・身体・動機付け・関係性に応じた内容で行います。最後に、活動の振り返りやディスカッションを行い、考えや感想を共有します。将来、社会生活	主体的に活動へ参加できるように促します。発達段階に応じた課題に取り組み、行動の問題を解決・予防しながら、他者との距離感や自己・他者理解を深めます。また、計画を立てる力や適切な対人対応を学び、主体的な生活環境の構築を目指します。振り返りやディスカッションを通じて論理的思考を養い、他者の意見やフィードバックを受けながら自己理解を深めます。
〈運動・感覚〉 自分の体調を知ろう 身体をほぐそう ・意識しよう 呼吸を整えよう 一緒にやってみよう 振り返り・記録	身長・体重・血圧・体温を測定し、記録します。バランスボールを使った体幹トレーニングや、姿勢保持を促す抗重力運動、バランス運動、マッサージを行います。さらに、綱引きや馬跳び、ボール運び運動、ストレッチ、ノルディックウォーキングなどの運動をグループで実施します。活動後は、回数や意識した身体の部位、達成度を記録し、振り返りとして感想や反省を記入します。	数値を視覚的に記録し、自身の健康状態を把握します。バランスボールやストレッチ、抗重力運動を通じて身体をほぐし、姿勢保持や覚醒レベルの調整力を養います。グループ運動では他者の動きを参考にしながら、状況に応じた動きを身につけます。回数や達成度を記録し、運動への意欲を高めるとともに、振り返りを通じて身体や動きを表す言葉を学びます。

活動	内容
家族支援	先輩保護者（メンター）が同席し、MTG（ストレングス・アプローチ）を行います。メンターを仲介役にして、同日時に集った親同士のMTGを行うこともあります。また、月に1度保護者向けの学習会を実施します。
移行支援	学校側への合理的配慮の提案（座席や支援グッズ、スケジュール調整）/学校選びに関するアドバイス/関係期間との情報共有など
地域支援・地域連携	ブルーウォーキング（地域コミュニティとの連携）/地域の資源を利用した社会科体験（買い物学習など）
職員の質の向上	月に1度社内研修有/事例検討会など
主な行事等	たすく祭（秋の芸術祭）/富士登山/ノルディックウォーキング大会など

